



実感と存在

How to feel the existence

2017

10.30 MON ▶ 12.8 F close on Tuesday

12:00 - 19:00 12:00-20:00 on Fri & Sat

Admission Free

AKIBATAMABI 21 / 3331 Arts Chiyoda 2F 201.202

桑原 愛 KUNEHARA AI

勝木 杏史 KATSUKI AORI

安藤 開 ANDO KAI

青木 香保里 AOKI KAORI

「存在と実感」 -how to feel the existence-

2017 10.30(月) - 12.8(金)

会場：アキバタマビ21

3331 Arts Chiyoda 2F 201・202

会期：2017年10月30日(月)～12月8日(金)

開館時間：12:00～19:00(金・土は20:00まで)

休館日：火曜

入場料：無料

イベント

オープニングパーティ 11月4日(土)18:00-

トークショー 11月25日(土)15:00-16:30

作家を交えたトークイベントを行います。

ゲスト：岡村 桂三郎氏【多摩美術大学 教授】

本下 京子氏【多摩美術大学 教授】

出品作家

青木 香保里 Aoki Kaori

1968 東京都生まれ

2015 多摩美術大学大学院日本画研究領域 修了

2016 Dejima River Award 優秀賞

2016 「美のつばみ」日本橋三越/東京

2017 個展「青木香保里個展」新国立

安藤 剛 ANDO Kōji

1968 神奈川県生まれ

2015 多摩美術大学大学院工芸専攻 修了

2016 個展「安藤剛展」ギャラリーQ/東京

2017 「第1回江戸非伝統的現代アートプロジェクト・オフィス・エクスシジョン」

三井不動産商業マネジメント株式会社オフィスロビー/東京

2017 「第9回Zero-K展」全労済ホール、スペース・ゼロ/東京

藤本 杏吏 KATSUHI Arai

1969 東京都生まれ

2015 多摩美術大学大学院美術専攻 修了

2013 個展「藤本杏吏展」ギャラリーQ/東京

2014 個展「Azuma」ギャラリーQ/東京

2016 「池ノ宮展 × 藤本杏吏展」サクラギャラリー/東京

亀原 愛 KUMEHARA Ai

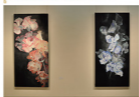
1969 埼玉県生まれ

2015 多摩美術大学大学院日本画研究領域 修了

2016 個展「亀原愛 個展」アートスペース麻布/東京

2016 第14回上野の森美術館大賞展 優秀賞

2017 「日中の木展」上海密雲美術館/上海、中国



- a 安藤剛「白いのがたし」2016
- b 亀原愛「花の朝」2016
- c 青木香保里「Flow」2017
- d 藤本杏吏「藍染石」2017

日々ものをつくり物事に開示する中で、何を大切にするのか。
作家4人で話し合う中から、「在るということ=存在」と「実感」という言葉が得られた。

存在には、物類(もの)的な側面と、情報(コト)的な側面が存在する。

情報が溢れ、社会では「もの」から実感を存かない「コト」へと価値の重点が推移してきた。私たちの生活には情報機器が切り離せないものとなり、活潑な情報交換や、目的に対して手段や時間をかけずに結果を得ることが可能になった。しかし、裏を返せばそれは実感を存かないコトコミュニケーションによる人間関係の歪みや、存在に対する実感の希薄さにも繋がっている。

相対するような二つの概念があるとき、私たちはついそれを比較し、それぞれの優位について言及し、優劣の中で「答え」を見出そうとする。しかし、それよりも二つの間にある関係性を掘りくことで、よりよい応えを得られるのではないだろうか。

今回の展覧会には、手仕事を用い、物質性に強い関わりを持った制作活動を続けている4名の作家が集まった。作品制作の過程を通じて、素材(もの)とそこにこめられた意味(コト)との関係性を探り、「存在ということ」にいかに向き合うか、四者の様々の応えを探っていくことを本展覧会の主題とする。



アキバタマビ21

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 3331 Arts Chiyoda 201・202

電話：03-5812-4558 / E-Mail: office@akibatamabi21.com

URL: <http://www.akibatamabi21.com>

アクセス

東京メトロ有楽町線北町駅4番出口より徒歩1分

東京メトロ千代田線有楽町駅6番出口より徒歩3分

都営大江戸線有楽町線A1番出口より徒歩6分

京浜東北線北町駅より徒歩7分

有楽町線有楽町駅より徒歩8分

「アキバタマビ21」は多摩美術大学が運営する、若い芸術家たちのための作品発表の場である。ここは若い芸術家たちが、互いに切磋琢磨しながら成長し共生することを体験する場であり、他者と触れ合うことで自身の殻から脱出し、独自のスタイルや価値を存することなく自らをプロデュースし自立していくための、継続の場でもある——そうありたいという希望を託して若い芸術家たちにゆだねる、あり得るかもしれない「可能性」の場であり、その可能性を自覚していただけ場所である。